

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市立文化展示ホール
(2) 指定管理者	所在地 津山市新魚町17番地 名称 津山街づくり株式会社 代表者 代表取締役 菅田 茂
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部文化課
(4) 指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	10,625人(前年度35,927人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務等 (展示会の内容) 華道展・書道展・美術展・写真展・絵画展等 合計19件 ・年間稼働率25.5%(前年度62.6%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 4,575千円(前年度決算額4,703千円) 施設継続・再開事業助成金 279千円 健康増進文化活動促進事業 81千円 利用料金収入 1,805千円 指定管理料 2,410千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 4,530千円(前年度決算額3,609千円) 主な支出 光熱水費 190千円 修繕・消耗品費等 64千円 委託料(施設管理) 426千円 事業費 1,463千円 その他(負担金等) 2,387千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・管理運営や受付等の対応案内については「満足」との回答が多かった ・備品の劣化、数量の減少等、改善の要望も寄せられた ・スタッフ対応も「満足」の回答が多かった ・器具・備品について要望があった(マイク設備)
(2) 指定管理者の自己評価	展示ホールについても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントの中止・延期が相次いで発生し、稼働率、利用件数、来館者数とも前年度実績を下回る結果となった。 また、設備・備品の劣化もあって利用者の要望に十分応じられていないことが現状である。

	<p>利用者の高齢化が進み稼働率、利用件数とも減少しており、今後は、積極的に広報活動に努め新規利用者の獲得を目指す。</p> <p>アフターコロナに向け、新しい生活様式での利用方法を摸索し、ホール利用の拡大に努める。</p>
(3) 市の評価	<p>感染症の影響により貸館事業のキャンセルもあり、施設運営で難しい面があったと思われる。展示ホールは例年利用需要が高く、収支も黒字で計上しているが、今後は利用の少ない時期やキャンセルが生じた場合に施設を活用する自主事業等の実施を望む。</p>